



世界自然遺産の島 屋久島町

No.21
平成25年3月

議会だより



シリーズ⑥「島の宝」(ゆかり幼稚園) (P13へ続く)
(園長手作りアスレチックで筋トレがんばってます)

第4回定例会・第1回臨時会行政報告···2P
常任委員会審査···3P~4P
決算審査···4P~5P
議会動向···5P

所管事務調査報告···6P~7P
全員協議会···7P
一般質問···8P~12P
シリーズ「島の宝」···13P
クイズ・編集後記···14P

第4回定例会・第1回臨時会・行政報告

第4回定例会（12月11日～12月20日開催）

屋久島高校通学バス分担金徴収条例の制定

※これまで南部地区のみに適用されていた分担金徴収条例に
北部地区を加え平成25年4月1日から施行



高校通学バス

◎一般会計補正予算

- 衆議院議員選挙費用1113万9千円の専決処分を承認
- 庁舎統合整備事業費3000万円の減額、畜産費で3ヶ所の牧場のフェンス代2227万5千円の増額等で493万円を減額し

総額96億5067万3千円

◎特別会計補正予算（千円）

会計名	補正額	補正後の額	備考
簡易水道事業	65,811	613,455	町債償還金元金、工事材料費等の増額
国民健康保険事業	137,275	2,237,391	一般被保険者療養給付費等の増額
診療所事業	500	201,741	栗生診療所トイレ改修工事費、酸素濃縮機リース料等の増額
介護保険事業	101,269	1,325,980	居宅介護サービス給付費負担金等の増額
船舶事業	1,633	312,052	修繕費の増額
電気事業	0	709,894	支出組替え
後期高齢者医療事業	468	139,540	保険基盤安定分担金の増額

以上、承認案1件、条例案3件、予算案8件、諮問2件、同意案1件が提案され、全て原案のとおり承認、可決、同意しました。

◎請願・陳情の審議結果

陳情第10号、温水プール建設陳情については、不採択としました。

第1回臨時会（1月16日開催）

◎財産取得について

消防ポンプ付普通積載車2台（尾之間班、楠川班配備分）11,970,000円の(株)鹿児島消防防災との契約案が提案され、原案のとおり可決しました。

◎議員表決一覧 ※賛否の分かれた議案のみ掲載

件名	議員名 結果	緒方	渡邊千	永野	山崎	眞理有	榎	松田	高橋	岩川修	日高順	下野	岩川俊	三神	日高豊	眞理万	寺田	渡邊博	満園	日高好															
		方	千	野	崎	有	榎	松	高	橋	岩	川修	日	高	順	下	野	岩	川俊	三	神	日	高	豊	眞	理	万	寺	田	渡	邊	博	満	園	日
平成23年度一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○															

○は賛成 ●は反対 ※議長を除く

行政報告（第4回定例会）

◎中心市街地活性化事業に係る会計検査について

昨年12月13日に行われた土地取得と公園整備の会計実施検査については、臨時国会で指摘されなかった。

◎町政施行5周年

- ・11月25日町政施行5周年記念式典
- ・徳田虎雄氏に名誉町民の称号を授与

◎褒章及び叙勲

- ・黄綬褒章 高田久男氏
- ・旭日単光章 下野満雄氏

常任委員会審査

常任委員会審査

※付託された議案を質疑討論し採決まで行います。

(第4回定例会)

【経済建設常任委員会】

本委員会への付託案件は予算案4件である。

一般会計補正予算（第6号）（分括）

問 青年就農給付補助金が1425万円減額となつた理由は。

答 补助要件をクリアできなきない9名分の減額である。

問 有害鳥獣被害防除対策補助金が100万円計上されているが、30ルの農家だけでなく、被害面積等を考慮したり、隣接した農地等を合算したものを探査したり検討すべきではないか。

答 財源が潤沢にあれば可能であるが、現状においては難しい。

牧場の資料の購入先



いるか。

答 漁港や住宅については来年度作成予定。その他は検討したい。

問 簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

問 歳入で借換債5800万円計上しているが、どのくらいのプラスがあるのか。

答 昭和61年度のものが利率5・2%、平成3年度のものが5・5%、今回が1・3%で利率的には下がつており、プラスになる。

答 昭和61年度のものが利率5・2%、平成3年度のものが5・5%、今回が1・3%で利率的には下がつており、プラスになる。

問 経費の削減などを図る観点から、契約方法を見直す考えはないか。

答 今後検討していく。

問 船舶事業特別会計補正予算（第2号）

問 フエリー太陽の修繕費163万3000円はどこを修理するのか。

答 中間検査の際にかかる修繕費。

電気事業特別会計補正予算（第1号）

問 安房港の屋根付き歩道設置の事業負担金とのことだが、どのような内容か。

答 船着き場から待合所にかけて屋根を設置するものである。

問 公共施設の維持について、修繕計画をつくるべきだが、検討して

以上、付託された案件は原案のとおり可決すべきものとした。

【総務常任委員会】

付託された案件は、条例案1件と予算案1件。

消防団の定数・任免・給与・服務等に関する条例

水難事故が発生した場合の搜索、救助活動を迅速かつ効果的に行なうための所要の改正。

水難救助隊の志願者を募つているようだがどのような状況か。

答 消防団幹部会で水難救助隊を組織することを決定し、潜水士等の志願を募つた結果、潛水資格保持者10名、船舶免許保持者10名を含め、31名の志願があつた。

問 人事異動に伴い、尾之間地域総務課長が宮之浦地域総務課長も兼務しているが、勤務形態はどうなつているのか。

答 午前中は宮之浦支所午後は尾之間支所で勤務を行なつていて。

問 分遣所の救命士の気管挿管実習は、現在、西之表市の病院で行なっているが、挿管事例も少なく全員が実習を終えるまでかなりの期間を要する。屋久島单独で鹿児島市の病院で実施できないか。

問 特に根拠はないが、海難事故の場合は人員も必要なため、今後も増やしていくたい。

答 検討する。

問 町長が各地区の運動会等に一人で出向いているが、危機管理の面からも職員を同行させるべきではないか。

問 水難救助隊にはポンプ車等の機関要員手当に当たるものはあるか。現在考えていない。

以上、付託された案件は原案のとおり可決すべきものとした。

問 ダイバーは自らのタングを使って捜索をしており、酸素充填に経費もかかるが手当はないのか。

答 資機材は分遣所のものを借りるため手当はないのか。

問 集落で事業の協議が整わなかつたことや、今年度のものを次年度に実施する集落があるため。

問 分遣所の救命士の気管挿管実習は、現在、西之表市の病院で行なっているが、挿管事例も少なく全員が実習を終えるまでかなりの期間を要する。屋久島单独で鹿児島市の病院で実施できないか。

問 人事異動に伴い、尾之間地域総務課長が宮之浦地域総務課長も兼務しているが、勤務形態はどうなつているのか。

答 午前中は宮之浦支所午後は尾之間支所で勤務を行なつていて。

問 特に根拠はないが、海難事故の場合は人員も必要なため、今後も増やしていくたい。

答 検討する。

問 町長が各地区の運動

会等に一人で出向いているが、危機管理の面からも職員を同行させるべきではないか。

問 水難救助隊にはポンプ車等の機関要員手当に当たるものはあるか。現在考えていない。

以上、付託された案件は原案のとおり可決すべきものとした。



気管挿管の実習は効率的に行われているか

答 町長が自分で行くのでよいとのことだつたが、町長の意向も再度確認して検討する。

常任委員会審査・決算審査



防災無線

答

現在、西之表市の田上病院で行なつており、そのようなことは考えていない。

※このことは、熊毛地区消防組合議会でも議長が問題提起している。

問

J—ALERTについて不具合が生じている市町村もあるようだが、本町の状況は。

答

本町は自動起動機が接続されていないが、受信状況に問題はない。

答

受信があつた場合は各支所へ伝達し、防災行政無線で放送を行つて

いる。今後は、現在行なつてある防災行政無線のデジタル化整備に合わせて自動起動機も整備していく。

以上付託された案件は、全て原案のとおり可決すべきものとした。

【文教厚生常任委員会】

本委員会に付託された案件は条例案2件、予算案5件の計7件。

ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正

児童扶養手当法施行令の改正による所要の改正。(裁判所の保護命令を受けた者の追加)

屋久島高等学校通学バス運行事業分担金徴収条例の制定

平成25年4月から北部地区も通学バスを運行することによる条例制定。

社会福祉総務費で障害者支援費等の扶助費30万4千円の増額、合併処理浄化槽設置整備事業費1066万6千円の増額等計上。

生活保護費徴収金34万2000円の増額の内容は。

申告の際の収入の未申告に伴うものである。

生活保護世帯の生活保護世帯はA、B、C、Dとランクが定められており、Aランクは月1回、Dランクは半年に1回調査を実施するよう定められている。

生活保護の申請には親族などへの連絡、連携、協力体制が盛り込まれているが、現状はどうか。

連絡を取り協力を正在している。

問

対象地区の保護者への説明会は10月に実施しているが、保護者には理解されたものと見ている。

答 説明会は10月に実施しているが、保護者には理解されたものと見ている。

一般会計補正予算

社会福祉総務費で障害者支援費等の扶助費30万4千円の増額、合併処理浄化槽設置整備事業費1066万6千円の増額等計上。

生活保護費徴収金34万2000円の増額の内容は。

申告の際の収入の未申告に伴うものである。

生活保護世帯の生活保護世帯はA、B、C、Dとランクが定められており、Aランクは月1回、Dランクは半年に1回調査を実施するよう定められている。

生活保護の申請には親族などへの連絡、連携、協力体制が盛り込まれているが、現状はどうか。

問

願いしているが、金銭的な援助を行う親族は今のところない。

学校給食の調理中にけがを負った人に対する保障はどうなっているか。

答 けがをしたのは公社職員であるが、労働災害保険で対応している。

けがをしたのは公社職員であるが、労働災害保険で対応している。

国民健康保険事業補正予算

県支払い基金や連合会の拠出金、負担金の確定により減額、増額の調整。

診療所事業補正予算

栗生診療所トイレ改修工事、酸素濃縮機リース料等の増額補正。

介護保険事業補正予算

介護認定システムの改修委託料、居宅介護サービス給付負担金等の増額補正

後期高齢者医療事業補正予算

広域連合の保険基盤安定納付金が確定したことによる一般会計からの繰り入れの補正。

のとおり可決すべきものとした。

みんなの税金

平成23年度決算審査全案件認定

願いしているが、金銭的な援助を行う親族は今のところない。

問

これまで200頭を駆除している。予算面では、いま環境省への助力を求めている。

水道会計の830万円の料金未収分の処理状況はどうなっているか。

答 これまで200頭を駆除している。予算面では、いま環境省への助力を求めている。

現在弁護士にも相談しながら検討中である。

町営住宅の火災報知器の設置状況は。

1400万円かけてすべて終了している。

環境共生住宅の樹木管理は。

町と県の折半で委託料を予算化して対応している。

質疑の主なものは次のとおり。

育牛の現状は。

血統が重視される市場のなかで、本町は現在口之永良部に力を入れている。町営牧場ではこの年度、初めて黒字を作り出した。現在

111頭の母牛を150頭まで増やしたい。

地元材活用に対する補助金支給の改善とは。

アンケート調査の結果もふまえ、これまでの施主への支給から事業者へ支給するよう転換した。

太陽丸の運営状況は、従来行なってきた繰り上げ償還は、23年度7700万円繰り入れ

したことで解消された。

太陽丸の代理店契約が入札方式に変更され

たが、その成果は。

決算審査・議会動向



給食センター

答 前年比、525万円 減額となつてゐる。

問 太陽丸の自動販売機 設置は福祉団体など地元優先にすべきではないか。

問 今後検討する。

答 太陽丸新造計画はどうなつてゐる。

造船のための基金が毎年4000万円程度必要と考へてゐる。時期については現在要している船舶保険料や5年一度約8000万円を要する定期検査、4000万円から6000万円かかる中間検査、船体腐食などの修繕費などを考慮しながら判断することになる。

問 給食食材における地産地消の拡充努力は。

答 現状では厳しい。経費節減のため、来年度から一日大会の検討もされている。

問 役場宿直職員の採用については、年金を受給している人は除外すべきと思うがどうか。

答 今後の採用は、そういう方向で検討されてゐる。

答 月に一度。給食の献立表を農家に示しながら食材確保につとめている。地元産使用は現在全体の1割程度である。

問 児童の自転車通学に対するヘルメットの無償提供や通学バス利用外の児童の悪天候時のバス利用はできないか。

問 今後検討したい。

答 テニスコートの年間管理料が160万円に対し、使用料30万円は収支の開きが大きく改善すべきではないか。

問 今後検討したい。

答 熊毛郡大会における個人負担2000円の軽減はできないか。

答 現状では厳しい。経費節減のため、来年度から一日大会の検討もされている。

答 現状では厳しい。経費節減のため、来年度から一日大会の検討もされている。

問 シルバー人材活用計画はどうなつてゐる。

補助金のカットなど、

答 登山ガイドの収入の把握は行なつてゐるのか。

答 H23年度の総収入は5億5844万円と把握している。

問 医療費抑制の手段としてジェネリック薬品を使用の現状は。



ジェネリック薬品の推奨は?

厳しい環境があり現在足踏み状態だ。

なお、委員会では次の付帯意見をつけた。

一、きちんととした予算執行と、減額などの措置につとめ、多額の不要額を押さえる努力を求める。

二、議会に示す調書には、それぞれの課の成果や事業の検証など可能な限り記載して、審査がスムーズに進行できるよう努力することを求める。

三、安房支所にある福祉事務所は狭隘で使い勝手が悪い。場所を同事務所一階の会議室に移動できないか検討を求める。

答 栗生診療所では、6割近くになつてゐるのに対し、他の診療所では低い状況だ。

問 津波対策のひとつである標高表示はどうなつてゐるか。

答 来年2月頃まで電柱に150力所掲示するようによっている。

以上、慎重に審査の結果すべての案件を認定すべきものとした。

議会動向 (12月～2月)

平成24年

- 11月20日 総務常任委員会所管事務調査（佐賀県みやき町、大分県日田市、福岡県大刀洗町）
- 26日 議会基本条例制定に関する特別委員会
- 27日 経済建設常任委員会所管事務調査（29日まで：熊本県菊陽町、宮崎県都城市）
- 12月 3日 屋久島空港ターミナルビル株主総会（鹿児島市）…議長出席
- 6日 第5回議会運営委員会
- 11日 第4回定期会開会（～20日まで）
- 13日 中央中学校議会見学

平成25年

- 1月 4日 屋久島町仕事始め式（安房総合センター）…議長出席
- 5日 平成25年成人式（安房総合センター）…各議員出席
- 6日 平成25年消防出初め式（尾之間運動公園）…各議員出席
- 16日 平成25年第1回臨時会
- 18日 屋久島観光協会新年互礼会

- 29日 県後期高齢者医療広域連合議会研修会（鹿児島市）…議長出席
- 31日 平成25年第1回全員協議会 交通対策調査特別委員会
- 2月 1日 熊毛郡議会議長会事務職員研修会（鹿児島市）…議員出席
- 5日 県後期高齢者医療広域連合議会定例会…議長出席
- 8日 文教厚生常任委員会所管事務調査（～7日まで：大分県日田市、福岡県芦屋町、鹿児島市）熊毛地区消防組合議会定例会（西之表市）…議長、総務常任委員長出席
- 12日 県町村議会議長会定期総会（鹿児島市）…議長出席
- 17日 2013サイクリング屋久島大会
- 15日 種子島屋久島振興協議会（鹿児島市）…議長出席
- 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会（鹿児島市）
- 県下一周駅伝大会熊毛地区選手激励会（鹿児島市）
- 21日 経済建設常任委員会
- 24日 屋久島町生涯学習大会

所管事務調查報告

所管事務
調查報告

總務常任委員長

標

合併効果を探るべく佐

賀県みやき町 本町との
交友盟約を締結し交流を
続いている大分県日田
市、事業仕分けの先進地
として選定した福岡県大
刀洗町の3箇所を調査し
た。

3町が平成17年3月
（面積＝51・89km²・人口＝
2万8100人・世帯
数＝8250戸）に合併
したみやき町を訪問した。
合併直後から行政改革
大綱や集中改革プランを
策定するなど行政改革に
取り組み、中でも平成20
年2月より具体的なスケ
ジュールを明確にした集
中改革アクションログ
ラムを策定し285項目
の事業見直しを行ない毎
年2.6%の削減をしてい

平成24年度の当初予算
は本町と同規模の96億1

千万円であるが、42億円もの財政調整基金を有している。この他、町有地の積極的な処分や公立保育園の統合・民間移譲、前納報奨金の廃止などの取り組みが紹介された。

一方、3町による対等合併だつたため、合併協定書に基づき分庁方式でのスタートとなり、その後本庁方式への移行について「施設のあり方検討委員会」を立ち上げ、協議を重ねてきたが未解決である。

次に日田市を訪れ、議長より市の状況の説明を受けた。中でも24年7月に発生した豪雨災害は、筑後川水系の氾濫により死者1名を含む人的被害と住宅全壊13件、半壊24件、床上・床下浸水1789件という大災害となり、いまだ復興の途上である。

しかしながら、屋久島町をはじめ多くの方々からの支援、国・県、ボランティア団体、建設業界等の協力により24年度末

で54%の復旧見込みである。一日も早い復興を願

翌21日は、旧上屋久町時代から交流が続いている前津江村の日田市前津江振興局を訪問した。

の積極的な処分や公立保育園の統合・民間移譲、前納報奨金の廃止などの取り組みが紹介された。

友好の糸の象徴である
屋久杉の土埋木が展示さ
れている立派な木造建築

として選定した福岡県大刀洗町の3箇所を調査した。3町が平成17年3月
（面積＝51・89km²・人口＝2万8100人・世帯
議を重ねてきたが未解決である。次に日田市を訪れ、議

の中学校校舎や校門が、0mの椿ヶ鼻ハイランドパークの一角に交流記念に植樹されて以来、20数年経過する中で、すくすく成長し続いている屋久杉群を確認した。

数1,825戸)は合併したみやき町を訪問した。合併直後から行政改革大綱や集中改革プランを策定するなど行政改革に長より市の状況の説明を受けた。中でも24年7月に発生した豪雨災害は、筑後川水系の氾濫により死者1名を含む人的破壊

の中学校舎や校高950mの椿ヶ鼻ハイランドパークの一角に交流記念に植樹されて以来、20数年経過する中で、すくすく成長し続いている屋久杉群を確認した。

取り組み、中でも平成20年2月より具体的なスケジュールを明確にした集中改革アクションプログラムを策定し285項目であります。害と住宅全壊13件、半壊24件、床上・床下浸水1789件という大災害となり、いまだ復興の途上である。

前津江村を後に、一村
一品運動の元祖とも言わ
れ「梅・栗植えてハワイ
に行こう」のキャッチフ
レーズが全国版となつた

大山町や古い町並みが評価され、国の重要伝統建造物保存地区に指定された豆田町を視察した後、大刀洗町を訪問した。

大刀洗町は、福岡市から南に30kmの純農村地帯で人口、1万5565人、世帯数4857戸でわが町と類似しているが、財政状況は23年度で一般会計約60億円、職員数88名であり自主財源が22億円で歳入の約36%を占め、財政力指数は0・41である。

こうした財政状況を作り出す裏づけは、徹底した無理・無駄を省く作業を行ない、職員へ意識改革を促してきたことにあり、それが事業仕分けであること力を説かれました。蓮舫さんでおなじみの国の事業仕分けを例に、外部目標、住民目標で各種事業の必要性や実施主体は適切か、更に見直す余地はないかなどインターネット中継をするなど住民への情報公開も図りながら、2度にわたる事業仕分けを行なっている。

この結果、22年度は仕分け対象の14事業のうち6事業を廃止、2事業の予算を減額、1事業の予

約1千万円の予算削減につながった。

この他、町議会の開催について一般住民が参加しやすいよう一般質問だけは日曜日になつていては、国の事業仕分けを考察提唱しコーディネートしている政策シンクタンク「構想日本」の協力を得てていること、また職員のヤル気を起こし意識改革を図り、自ら政策にかかわり町政発展につなげるべく職員を育てるため、東京財團週末学校へ積極的に職員を派遣していることなどが紹介された。

以上が3地域の調査内容ですが、混迷が続く国政情勢の中、年内には新政権が誕生しようとしており、わが町においては合併5周年の節目を迎え、記念式典が開催されました。更なる屋久島町の発展のため新たな活路を見出すべく、議会と執行部が一丸となつて取り組ん



屋久杉の古埋木



新規登録

所管事務調査報告・全員協議会協議内容

経済建設常任委員長
岩川 修司

11月27日から29日までの日程で、熊本県菊陽町と宮崎県小林市並びに都城市で調査を行いました。

27日午後、本町と友好盟約を結んでいる熊本県

菊陽町を訪問し、執行部・議会を交え菊陽町の

現況等について懇談しました。

その中で、年々増加する人口への対応、特に学校の校舎増築の問題などが語られ、人口増や企業立地によって税収も伸び、財政力指数が0.9までに達していることであり、大変うらやましい話も伺い、今後も行政、教育、文化、福祉、産業、経済等々、いろいろな分野にさらに交流を深めることをお互いに確認しました。

翌28日午前は、内水面漁業で淡水を使った養殖の可能性を探るため、宮崎県小林市にあるチヨウザメの養殖施設、出の山淡水魚水族館を訪問する予定だったが、通行する

九州自動車道でトンネル事故が発生し、通行禁止となつたため訪問を断念し、次の調査地である都城市に向かいました。

都城市では、宮崎森林管理署都城支所内で行っている列状間伐の状況について現地において調査しました。

その内容は、列状間伐に至った経緯として、車両系建設機械の発達により、従来の架線による間伐より経費がかからないこと、また、車両系による間伐は列状間伐でないとできないこと、さらに、事故等も少なく安全性もすぐれているので、全国的に行われるようになつたとのこと。次に、列状間伐のメリットは、材を選ぶことなく間伐できることや直径4mの材まで持ち出すことができ、間伐材の利用度が高まつている。

デメリットとしては、植生の変化の問題や強風による立ち木被害などが考えられるが、今のところ

ろ発生した例はない。

屋久島については、既に列状間伐を行つているが、林業形上は、まず材の確保と島外への運搬手段の問題が先で、国有林とあわせて量を確保することが必要ではないか。

屋久島は森林利用ということより、世界自然遺産のコア部分ばかりではなく海岸から山頂に至るまで山を保全していくことが大事ではないか。森林施業による裸山を出現させないために、伐期をずらす複層間伐の方法がいいのではないか。また、屋久島の材は合板ばかりではなく、建築材にも使用されていることの説明がありました。このことから、屋久島材は建築材としてもっとピーアールすべきではないか。

これらの調査を行つた結果、屋久島は急勾配や岩盤が多く列状間伐の施業はなかなか難しいのではないかと感じました。

以上で所管事務調査報告を終わります。



議会全員協議会協議内容

◎12月20日開催

- 指定管理者候補者選考委員会委員の推薦について

総務常任委員長と経済建設常任委員長の当職とする。

◎1月31日開催

議会基本条例の制定について

- 屋久島町議会基本条例（案）について

- ・条例（案）全文を町民に衆知し、意見を徴してはどうか。
- ・議会のことであり、我々議員の責任において決めるべき。

以上の意見等があり、協議会としては、各議員

この条例（案）に対する意見等について、2月中に事務局へ連絡する。

このことを踏まえ、次回の全員協議会で協議する。6月議会に提案し、10月1日施行とする。

- 永田地区火災被害見舞いについて

行政として町営住宅、寝具を提供し、福祉見舞いを行つた。まだ跡地の処理等が残されている状況であるとの執行部からの説明があった。これに対し、議会としても被災者に見舞いをすべきではないかとの提案があったが、選挙区のことであり、公職選挙法に抵触するおそれがあることから、議員、議会としては金銭を伴う見舞いは行わないとの結論になった。

一般質問

町政の課題

8人が町の考え方を問う

12月12日、13日に行われた一般質問を通告順に掲載しています。

この内容は、議会会議録をもとに質問した議員の責任において質問及び回答を要約したものです。

なお、議会会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。

問 一湊地区の一湊中学校跡地利用検討委員会が町に提出した要望書は、一湊地区の活性化の起爆剤として町が跡地利用提案を広く募集し、医療・福祉・教育・環境関連等の優良企業の誘致を検討すべきとあるが、町としてどのようなスタンス及び体制で事に臨むか。

答 一湊地区の要望に沿う形で町のホームページ等で幅広く利活用の募集を行い、一湊地区の検討委員会と連携を取りながら地域の発展につながる利活用が図られるよう進める。



寺田 猛 議員

優良企業を誘致すべき。一湊中学校跡地の利活用案を募集する

町長／幅広く利用提案を募集する

検討・実施すべき。吉田地区の里道及び農林道の整備

町長／関係機関と協議・実施に向け検討する

地元から金山、平家の城跡を経由する要望がある、関係機関と検討し路線決定をする。

問 里道、通称中通り線は狭隘で緊急車両が通行不能であるが、打開策はないか。

答 民有地の譲渡ができるれば、中間地点の里道を拡幅し幅員4mの道路を県道に向けて建設することは可能である。吉田区と協議する。

問 農道吉田1号線の延長再検討すべきでは。

答 地権者の同意等の条件整備や補助事業採択の可能性を含め担当課と協議する。

問 北部林道の吉田からのアクセスルートは。

答 来年度から口永良部の高校生を対象に実施する。支給対象経費は鹿児島市内の下宿や寮の平均的な経費とフェリー太陽の船賃等。

離島高校生就学支援事業の実施は
教育長／25年度から金岳校区の高校生を対象に、支援事業を実施する

一般質問



町民の生活状況をどう見るか

町長／産業の停滞傾向、所得減少から低下している

渡辺 博之 議員

ないか。

答 現在、住宅施策として廃屋の解体、地元材活用、合併浄化槽、介護バリアフリーの助成を行っている。その中でリフォーム助成制度をどうする

か、今後内部検討して3月までに結論を出したい。

問 公営住宅の減免制度の要綱を作成すべきではないか。

答 3月の条例改正で、きちんと要綱を定めたい。

問 ここ数年の総生産で建設業界は6億7千万円の減となつていて。その底上げのためにも、また町民の生活応援、地域活性化のために、全国533自治体にまで広がり、リフォーム助成制度導入その力が証明済みの住宅に決断を下すべき時では



マムシ血清の備蓄についてどのように考えているか

町長／永田・栗生診療所の他、安房か尾之間に常備することを含め、徳洲会病院とも協議を進める



馬毛島問題の民間団体の活動に協力を

町長／できる限りの協力をする

問 国が調査費をつけるなど馬毛島の基地問題は緊迫の度を高めている。町主催のイベント会場で、民間団体が反対の署名活動が行えるように、またポスターなどを掲示する場所についても協力をすべきではないか。

答 いざれもできる限りの協力をして参りたい。

答 することを含め、徳洲会病院とも協議を進める。

問 今急ぐことは、どの病院に血清があるかを把握し、それを広報誌で周知することだと思うが。

答 できる限り、そのようない形で広報をきちんとやりたい。

問 島内で作業中にマムシに咬まれ、病院に行つたが血清がなく、ドクターヘリで鹿児島へ搬送された事案があつた。血清の備蓄について見解を伺う。

答 町営診療所に血清の有無を確認した結果、永田は常備しており、栗生田は常備だったため、購入するよう指示し常備させた。

地杉の利用促進のための取り組みと今後の展望は

問 地杉の利用促進のための取り組みと今後の展望について見解を伺う。

答 施主に10～15万円助成してきたが、効果がなかつたため、木材調達方針の明確化と屋久島産材認証制度補助事業の見直

しを行い、工務店に1m²当たり1万5千円を助成することにした。

問 地杉の利用者が少ないのは、施主と地杉を結ぶラインが確立されていないからだ。希望者と地杉をつなぐシステムづくりを進める考えはないか。

答 まさしくその通りだと思う。きちんとした道筋ができるよう努力する。

問 県の木造公共施設整備事業の導入希望があった場合、町の補助額の上限を引き上げる考えはないか。

答 該当するかどうかを含め、今後検討する。

※ その他の質問【電算処理データの保管状況及び安全確保策について】



安房貯木土場

しを行い、工務店に1m²当たり1万5千円を助成することにした。

今後、公共事業で地域材を積極的に活用したい。

一般質問



綜合自然公園



龍神杉ルート

宮之浦川上流域の利活用について

町長／未整備区間に着手することを最優先課題として検討する



永野 正義 議員

11

問 宮之浦川上流域の整備は、未整備のまま残されている歩道と神之川林道、そして作業道を整えて観光ルートとして確立することが時代の要請であり、町が一大プロジェクトとして真正面に捉え取り組むべき課題だと思ふが、町長の決意を聞き

議を図りながら、事業成
就に向けて検討してまい
りたいと考えている。

これは未整備の石積みの部分を少しづつ整備していく、今、この計画では、木道未整備が650mあり、そして昔の軌道敷跡が641mある。まずここで手がけて行きたいと、段取り的には、そういうふうに思っている。

答 今、県との協議と言
か。あるが、国や県との協議
がスムーズに行けば、こ
の事業導入にすぐに着手
すると理解してよろしい

林業事業体へも支
援を



日高好作議員

農林水産物の流通 体制の確立を

答 内部で上限を幾らにするのか、そういうことも検討して近いうちに結論を出します。

る。流通の問題は島全体の経済に関わることなので、生活航路も含めて関係機関と調整する機会を年の方同生を占めたい。

答 コスト削減のための高性能機械購入や事業量確保など、通年就労できない状況は理解しているので財政上も含めて検討したい。方法を考えてできる限り早い時期にやりたい。

輸送コスト削減のためには、町、船会社、漁協や農協が一体となつて体制確立に向けた協議を進め、問題解決を図る必要があると考えるが。

答は。
内部で上限を幾らに

問 島外に出荷される農林水産物は、民間の船会社に頼っているが、特に水産物の出荷については生産者の要望が叶わない現状である。また、今後

間を一時間遅らせてもらう方法もあると聞く。議会の交通対策特別委員会もあることから、中に入つて問題を改善していくべきだきたい。

一般質問



廃園対策は?

耕作放棄地、廃園対策は

町長／新規就農者の掘り起こしや支援を行う



日高 順一 議員

交流人口の増大と具体的な活性化方策は

町長／積極的な情報発信を行い、観光基盤を充実させる

くるために全面的に努力する。

財政が逼迫する中、本庁舎の建設はどうするか

町長／財政状況に合った規模で構造は木造と考える

モニターツアーや、新幹線沿いの学校の修学旅行誘致など具体的活動をすべきでは、積極的に取り組んでいきたい。

問 交流人口を増大させるためにはマスコミへの積極的な情報発信と協力の必要があるので、取材の受け入れ体制を整え、役場、観光協会が協力しスマスマディアを

答 新たな制度も考え、新規就農者や後継者をつ成すべきではない。

問 廃園対策は?

答 建設規模は財政状況を考慮し、国の森林・林業再生基盤づくり交付金のハード事業の地材を使用する木造公共建築物整備に必要な経費を支援する事業がスタートするので木造での建設を林野庁にも働きかけた。

有効に活用することが必要。

広く深い町民交流を図るに大会の趣旨を踏まえ、一層の触れ合い交流の場となる様実施方法等の検討をする。

駅伝競走大会を活用した町民交流について

町長／実施方法等の検討をする

口永良部島と本島間の交流の在り方

町長／一層の交流充実のため検討したい

広く深い町民交流を図るに大会の趣旨を踏まえ、一層の触れ合い交流の場となる様実施方法等の検討をする。

駅伝大会の持ち回り開催は



山岳部利用のルール作りを急げ

町長／遺産登録20周年を一つの区切りとできるようルールづくりを進める

山岳部の利用ルールの必要性を言われて久しいが、島民の歴史的な山との関わりを基本とした、エコツーリズム推進法を活用したルールづくりを急げ。

問 選手・応援者共々に一定のエリアに一定時間滞在し、地域の住民と交流することや安全性の確保が必要である。そこで40km前後のエリアでの周回コースの設定による地域持ち回りでの開催はできないか。

答 現在、本島からの交流の企画が少ないという認識はあるので、一層の交流の充実のため検討したい。

問 建設規模は財政状況を考慮し、国の森林・林業再生基盤づくり交付金のハード事業の地材を利用する木造公共建築物整備に必要な経費を支援する事業がスタートするので木造での建設を林野庁にも働きかけた。

答 一般町民の委員参加などエコツーリズム推進協議会の再構築のために時間がかかっている。遺産登録20周年を一つの区切りとできるようにスピードアップを図つてルールづくりを進める。

一般質問

選挙公約の進捗状況は



町長／町民と一緒になつて事に当たりたい

答 全ての課長を集めて話をする。

問 近年、選挙においてマニフェストが注目され、政治がお願いから約

特別委員会現地調査

交通対策調査特別委員会

1月31日午後、島内外

から要望があつた屋久島

空港ターミナルビル問題

及びジエット化に向けた

滑走路問題について現地

調査を行つた。

当日は町長、日高県議

にも同行いただき、担当

課長から、これまでの経

緯説明後、現地調査を行

つた。

ターミナルビルについ

ては、狭隘なため利用に

支障をきたしていること

から、抜本的な改善が必

要であり、ビルの所有者

であるイワサキコーポレ

ーションと鹿児島県に対

し、改築等の要望を強く

行う。また、ビル前の通

路の屋根が破損してお

り、早急な補修を要する。

さらにジエット化に向け

た滑走路問題について

は、滑走路の北側、南側

を調査した結果、道路や

周辺地権者等、地形的な

見解からも、滑走路の拡

張解して頂く為にどのよう

に事を進めているのか。

以上のことと踏まえ、

今後関係機関との調整を

はかり、より利用しやす

い屋久島空港が早い時期

に実現できるよう特別委

員会としてさらに調査し

たい。

問 マニフェストとは数値的目標を置いて、期限財源、行程表などを体系立てる必要があるので。 答 与えられた任期は4年ですから、その数値の目標を出して、1年でやるものは1年、3年でやるものは3年、そう言う事に数値を出してやるのもマニフェストの一つだと思う。

問 町長の政策を進める中で一番大切な事は、職員がどれだけ町長の考え方を理解しているかだと思うが、そこで町長は実行部隊である職員等へ理解して頂く為にどのように事を進めているのか。

17 すすめ 誰も 球場 個別 価値 番組 各種 信頼

イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ・イ

シリーズ「島の宝」

シリーズ⑥ 「島の宝」

学校法人 ゆかり文化認定こども園

ゆかり幼稚園・どんぐりの森保育園



砂場でいろいろな事を学びました。



放水もかっこよくなりました。

ゆかり幼稚園は昭和42年に尋常小学校跡地（現在の宮之浦区公民館）に開設され、児童教育の灯をともしました。「教育とゆかり深き場所」であることから園名を「ゆかり幼稚園」としました。その後、昭和53年に学校法人として認可され、卒園児は三千人を越えています。

平成24年9月に認可保育園として「どんぐりの森保育園」が設置され、平成24年11月には幼保連携型の認定こども園として県より認定されました。現在146名の子どもたちが毎日、元気一杯に走り回り楽しく活動しています。



幼年消防隊第12分隊



毎朝のジョギング。体力もつきました。

ゆかり幼稚園では、「自然と触れあい、伸び伸びと育ち、心のやさしい子どもを育てる。」を教育目標に、大切な幼児期を保護者と連携を取りながら成長を感じていきたいと思います。

遊びを大切にした保育の中で、いろいろな事にチャレンジしている子どもたちは、とても元氣があり毎日が驚きと発見の連続です。この子どもたちの笑顔は「島の宝もの」。園として、保護者として、地域として、責任ある行動を取り協力しながら育てていきたいと考えています。また、消防出初式には、ゆかり幼稚園幼年消防隊として参加し、協調性や防火意識を高めるための活動をしています。

どんぐりの森保育園では、「よりよい環境の設定に努め、健康で明るく生き生きとした生活と心優しい思いやりのある子どもを育てる」を保育方針に掲げ、日々保育にあたっています。0歳児から2歳児の可愛い子どもたちが笑顔で登園し、いろんなものに興味を持つて、少しずつ言葉を覚え、活動範囲も広がっていきました。毎日、園庭やお部屋で楽しく過ごしています。



あかしの家とどんぐりの形のケーキでクリスマス会。



落ち葉のプールで遊んだよ。

お知らせ

クイズ

問

一、フェリー太陽の5年に一度の定期検査にはいくらかかるか。

() 万円

二、これまでに駆除した狸の数は。

() 頭

三、ゆかり幼稚園は何の跡地に開設されたか。

()

■応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで左記へご応募ください。

■締切日

平成25年5月10日(金)消印

▼20号の正解は

問一、(315)頭

問二、(9,942,000)円

問三、平成(23)年(4)月

正解者の中から抽選により3次の方々が当選者となり、図書券をお贈りしました。原安永房弓削様、有馬伸一郎様、岩山光清様

安永房

弓削

岩山光清

様

原安永房

弓削

岩山光清

様

有馬伸一郎

様

岩山光清

様

三橋和己

様

原集落

様



投稿写真募集

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

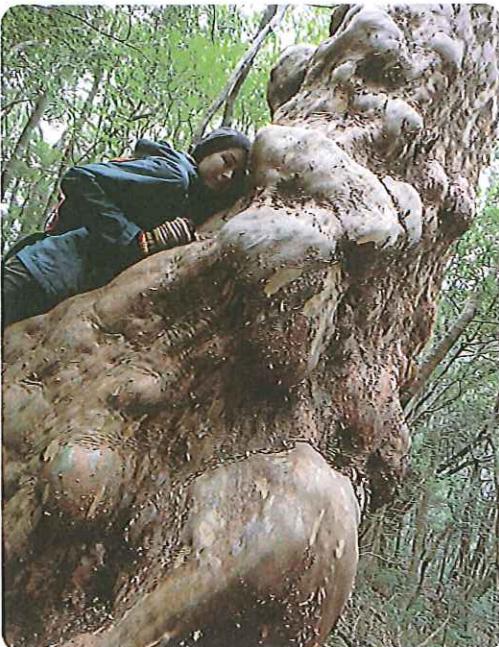
6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場
12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

議会傍聴へどうぞ

だれでも自由に傍聴できます。

受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

投稿写真



樹にいやされて
(明星岳の巨大ヤクシマサルスベリ)
三橋和己 様 (原集落)

町民の皆様へ紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。
風景、行事等テーマは問いません。
一言写真の説明文を添付していただければ大変助かります。
詳しい事については議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

今年はヒヨドリの被害にタンカン農家が泣かされた。一年かけて、丹精込め守り育てやつと収穫という直前のヒヨドリの襲来である。あらためて自然と向き合わなければならぬ農業の厳しさを思い知らされる。担当課の話では、被害は2~3割に上るという。その影響は農家にとどまらない。町の経済や税収にも及ぶとなる。鳥被害を防ぐ本格的な対策が求められている。言うまでもなく、人間社会が存続していく上で欠かせない食料を提供しているのが農業である。だからこそ、政治的援助が必要よりも必要な分野である。国会ではTPP推進の議論がかなり激しく、日本農業を決定的に破壊するTPPへの参加など論外である。間違つても政治が農業被害の最大の加害者になつてはならない。(渡辺)

発行責任者
議長 小脇清保
編集責任者

委員長 日高順一
副委員長 渡邊博之
委員 山崎利広
真辺有次
議会広報委員会